

静岡県鋳工業指数 (平成23年10月分速報)

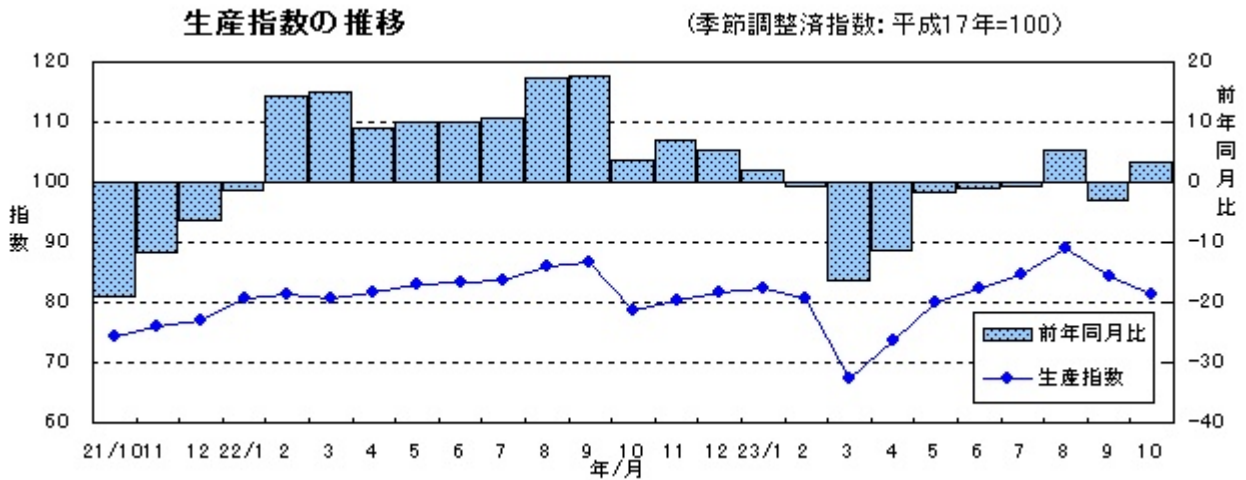
1. 生産の動き

前月比3.7%減(2か月連続して低下)、前年同月比3.2%増(2か月ぶりに上昇)

10月の鋳工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は81.2であった。

前月比(季節調整済指数)は3.7%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は3.2%増と2か月ぶりに前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、家具、プラスチック製品、その他製品等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、化学等が低下した。



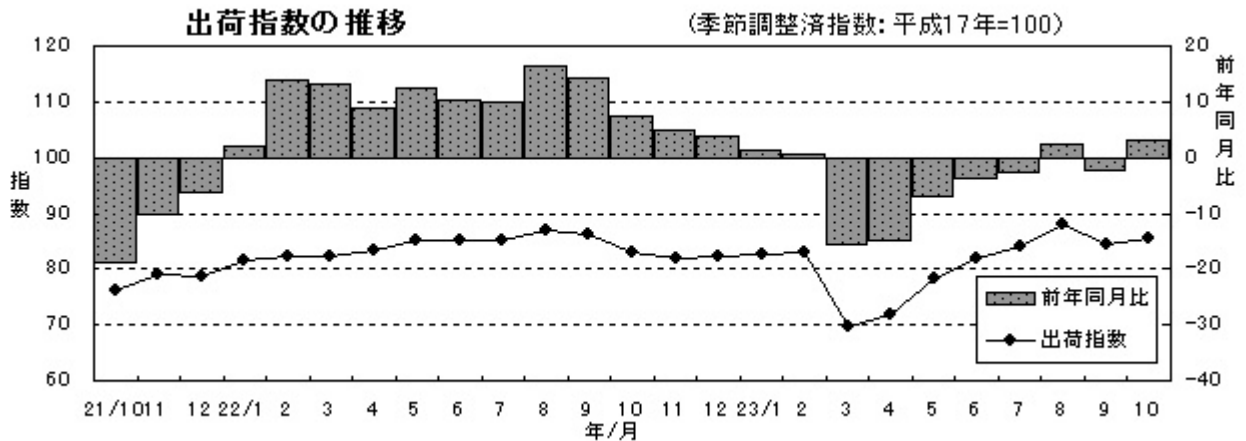
2. 出荷の動き

前月比1.4%増(2か月ぶりに上昇)、前年同月比3.1%増(2か月ぶりに上昇)

10月の鋳工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は85.6であった。

前月比(季節調整済指数)は1.4%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.1%増と2か月ぶりに前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、食料品・たばこ、プラスチック製品等が上昇する一方、輸送機械、化学、精密機械等が低下した。



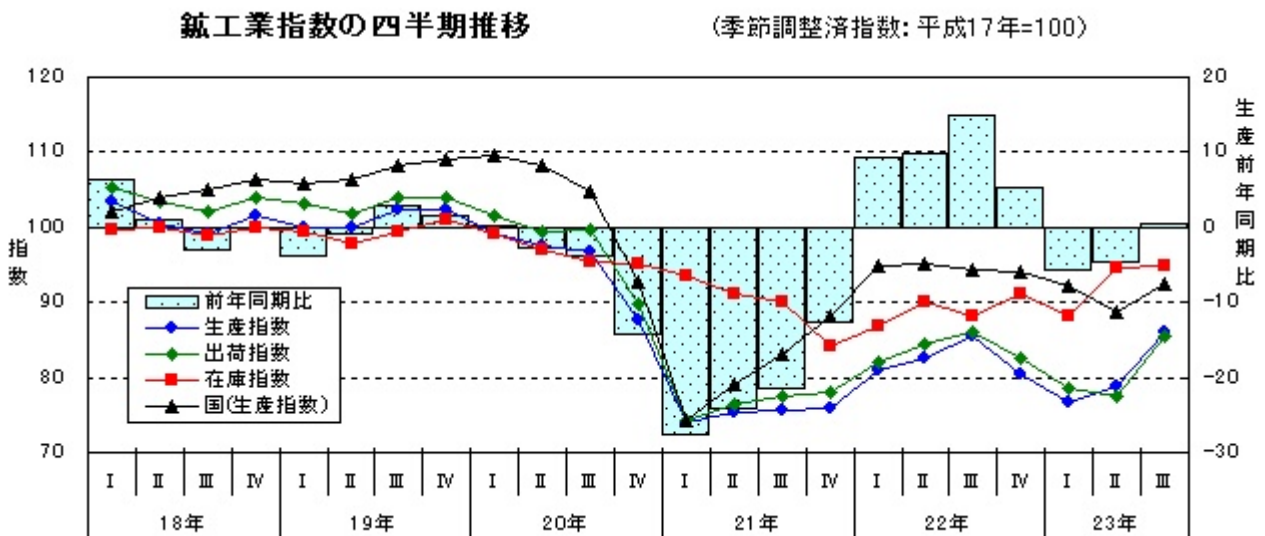
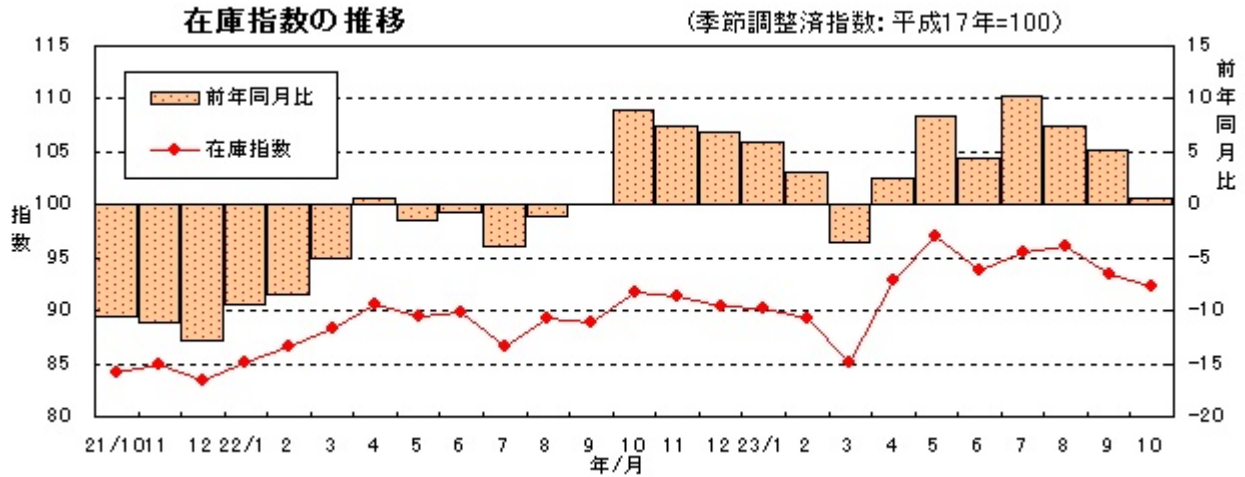
3. 在庫の動き

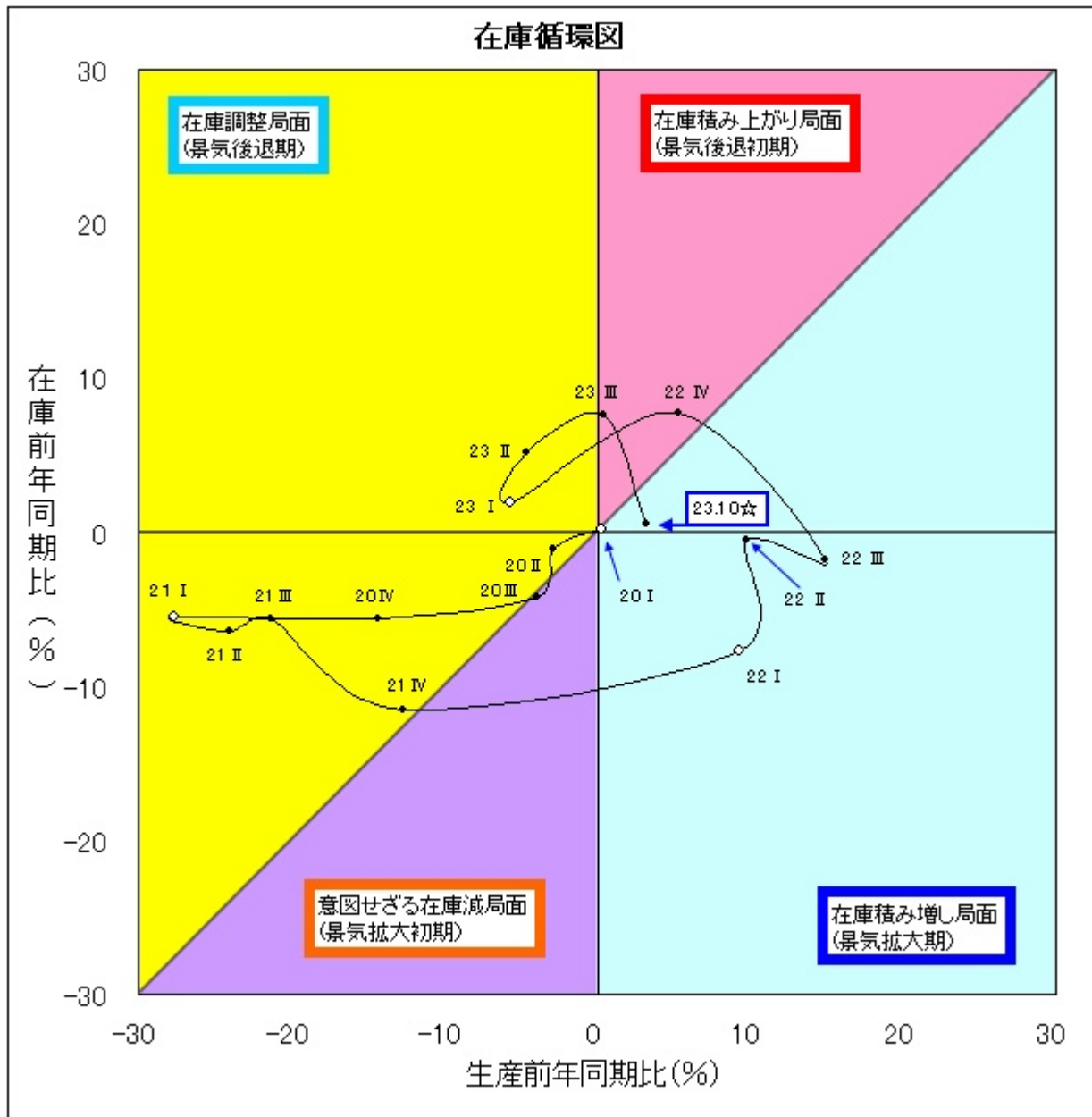
前月比1.2%減(2か月連続して低下)、前年同月比0.5%増(7か月連続して上昇)

10月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は92.3であった。

前月比(季節調整済指数)は1.2%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は0.5%増と7か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、化学、その他製品等が上昇する一方、食料品・たばこ、輸送機械、非鉄金属等が低下した。





★ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)** ← 今月はここに該当

需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。

・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**

供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。

・ **在庫調整局面 (景気後退期)**

適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。

・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**

需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。